

宣 言 ・ 決 議

宣 言

埼玉県退職校長会は、埼玉教育の振興に寄与するとともに、会員の親睦と福祉の増進を図ることを目的として昭和40年に結成され、以来、組織の充実・強化を図りながら目的達成への努力を重ねてきた。

今日、超スマート社会へ歩みを進める我が国は、少子高齢化と生産年齢人口の減少傾向が続いており、グローバル化の進展及びICT環境、AI、IoT等の絶え間ない技術革新により、社会構造や雇用環境も変化している。また、日本の子どもは国際的にみて学力調査の成績は良いが、主体的に学び物事を深くまで理解するのが苦手という傾向が報じられている。

このような時代にあって、児童生徒には今後とも「主体的・対話的で深い学び」を通して「主体的・創造的に課題を発見する力や解決に導く力」「多様性を受容し他者との意思疎通を図るコミュニケーション力」「ICTの活用能力」等々、未来をたくましく生きていくことのできる資質・能力を育むことが求められている。

我々会員は、教員不足の影響や次の学習指導要領の改訂への歩みなど、教育の現状と会員の福祉にかかわる諸課題を正しく見据え、教育行政機関及び教育諸団体との連携を強化し、日本国の発展に尽くす人材の育成を目指した教育の進展に努める必要がある。さらに、急激な政治・経済・社会の変動に伴う年金制度改革や高齢者医療・介護保険制度・定年延長をめぐる動向等を注視し、会員の福祉の増進に努める決意を新たにするものである。

総会にあたり下記事項を決議し、その実現に努めることを宣言する。

決 議

- 1 教育尊重の機運をよりいっそう高めるため、「彩の国教育の日」の取組を積極的に支援するとともに、全国組織と連携し、国民の祝日「教育の日」制定の活動を推進する。
- 1 生涯学習活動の振興と学校安全等に関わる教育支援の充実に努め、埼玉教育の活性化に寄与する。
- 1 会員の生活基盤である年金制度の充実を関係機関に要望する。
- 1 会員が豊かな生きがいをもって学び続け、充実した生活を実現できるよう福祉の増進に努める。
- 1 組織の充実・強化に努め、活動の活性化を図る。

令和7年6月14日

第61回 埼玉県退職校長会定期総会